

科目名	担当教員	学期	単位
比較政治演習 B	伊東 孝之	後期	2

講義概要

本科目は、他の同種類の科目と同じく、修士課程の研究指導を演習化したものである。博士課程の研究指導は演習化されていないが、受講生の数が少ないので、演習化されている修士課程の研究指導と毎週合同して連続実施することになっている。修士課程生は博士課程生の、また博士課程生は修士課程生の研究発表を論評する機会をもつことになる。すべてに出席すると2限分拘束されることになるが、その週の重点が修士課程にあるか博士課程にあるかは前もって示されるので、いずれかにのみ出席することも可能である。比較政治研究領域においては前期に3回、後期に2回の領域全体の合同研究指導が行われるが、その週には個別の研究指導（演習）が行われぬ。合同研究指導の詳しい予定は学期が始まってから発表される。受講生は基本的に講師を指導教員あるいはサブアドバイザーとする院生諸君によって構成されるので、演習テーマも指導教員とその指導下にある院生諸君の研究関心に基づく。もちろん一般院生の参加を歓迎するが、自ら研究発表をする、あるいは他の受講生の研究発表を聴く用意がなければ演習参加はあまり意味がないだろう。演習においては政治体制論を中心とし、広く近代史における政治変動を取り上げる。独裁から民主主義への変動だけではなく、民主主義から独裁への変動をも射程におく。地域に関しては限定がない。純粋に理論問題を取り上げることも可能である。受講生の数にもよるが、学期に1-2度は比較政治学の方法論についての英語の基本文献を取り上げる。

シラバス

- [第1回] 研究発表
- [第2回] 研究発表
- [第3回] 研究発表
- [第4回] 研究発表
- [第5回] 研究発表
- [第6回] 研究発表
- [第7回] 研究発表
- [第8回] 研究発表
- [第9回] 研究発表
- [第10回] 研究発表
- [第11回] 研究発表
- [第12回] 研究発表
- [第13回] 研究発表
- [第14回] 研究発表
- [第15回] まとめ・評価・他

教科書

なし

参考文献

なし

評価方法

平常点に基づく

関連URL

備考